白馬栂池 裏ヒヨ

栂池スキー場～鵜峰北東面～白馬乗鞍スキー場

2009 年 1 月 24 日

　橋立　他（ブルークリフのツアーに参加）

　白馬でバックカントリースキーのガイドをしている、友人の兄（いわば友人）と、かねてから山に滑りに行こうと話していたが、私は普通のサラリーマンで基本は週末しか滑れず、かたや友人はガイドであり週末はほぼガイド業で予定が埋まっており、なかなかお互いプライベートの時間に一緒に山に行くことが出来なかった。そんなこんなで数年が過ぎてしまったのだが、これではいつまでたっても滑りに行けない。今回私がガイド山行に参加することを決心し、ここに数年の願いがやっとこさかなった。今回のコースは、栂池スキー場から鵜峰まで登り、鵜峰北東面（通称裏ヒヨ）を滑り、それから緩やかな若栗の頭までの尾根を歩いて、最後は白馬乗鞍スキー場に滑り込むというもの。

　当日、7 時に八方の第五駐車場に集合し栂池スキー場に向かう。車一台、帰り用に白馬乗鞍スキー場にデポ。ゴンドラとリフトを乗り継ぎ、スキー場トップに向かい、9 時頃に林道からハイクアップを開始する。前日に雪が降ったものの、大して積もっておらず、東面は硬い斜面に雪が少し被った程度。おそらく、この斜面を滑るやつらはいないだろうという判断で、フェイスを横切り稜線を目指す。が、途中口うるさい、他社ガイドに「尾根を登りましょう」なんて注意を受ける。こんな雪質の斜面を誰が楽しんで滑るというのか・・・1 時間くらいで山頂に着いた。良さげな滑りだしポイントを探しながら、稜線沿いに東へ移動。

　適度な斜度のオープン斜面を見つけ、順にドロップしていく。雪は底つきのパウダーだが、まあ楽しめるレベル。北東に向かって斜面をトラバース気味に滑り、良い斜面を見つけ直線的なラインを滑り、またトラバースといったことを何度か繰り返す。ボウル状の斜面、雪庇からのダイブ、ツリーランと色々な地形を楽しむことが出来る。

　ここからは、緩やかな若栗尾根にそって、白馬乗鞍スキー場の方に向かって登る。次の滑り出しポイントまでは、約 1 時間ちょっとの歩きになる。距離があるので時間はかかるが、急斜面は殆どないので体力的には楽

だ。

　最後の滑りは、1598m のピークあたりから、適度な感覚に木が立っている中にドロップインする。左手に沢を見つつ、そちらに引き込まれないよう右手のツリーに滑り込む。斜度はまずまずで雪の付きもよい。ここから、3 ピッチほど刻み沢の出会いまで下る。後は沢沿いに下り、異様な形をした堰堤の排水溝をくぐって、林道を少し滑るとスキー場に到着。実際には、人数を絞るなりして、滑りの時間を短縮すれば半日ちょっとで抜けることも出来るだろう。このコースでは、楽しい斜面を適度な間隔で滑ることが出来るし、歩きもストレスを感じない程度のものだ。滑りの楽しさ、距離、時間など総合的にみて一日ツアーとしては最適なコースだと思う。

　今回、数年の念願がかない、友人と山で滑ることが出来た。私の友人である彼の弟は元スキー大回転の選手でインターハイに出場した猛者だが、この兄も負けず劣らず力強い滑りをする。スキー、スノーボードに関わらず、上手い人と一緒に滑るのは刺激的で楽しい。

今回、無事何事もなく下山したが、白馬乗鞍にデポした車のバッテリーがあがっており、結局ガイド会社に向かえに来てもらい、無事栂池の駐車場に参加者が送り届けられツアーは終了した。何はともあれ充実した一日だった。

コース
栂池スキー場トップ⇒鵜峰⇒北東メ面（裏ヒヨ）滑走⇒若栗尾根⇒白馬乗鞍スキー場